

## 遭難対策講習会報告書 さいたま市山岳連盟 遭難対策委員会主催

<内容>

■日程：11月17日（土）AM8：30～PM4：00

■場所：釜ノ沢五峰（秩父）

■参加人数：19名

■講師：埼玉県警察山岳救助隊（飯田副隊長以下山岳救助隊計11名）

<講習内容>

- ①装備内容確認
- ②読図による状況判断
- ③リーダーとしての指導及びチェックポイント
- ④救助法（スリングによる簡易確保法/三分の一）
- ⑤目視及び音声（声/笛）による伝達法の確認

17日（土）無風快晴。気温6度（秩父）。9時頃長若山荘から3班に別れ釜の沢五峰をめざす。

我々1班の講師は3名（30代。通常は駐在勤務の警察官）。3時間のコースを途中、読図や自己位置伝達法・救助法などの講習を受けながら登降。（砂吹が一度道を間違えましたm(\_ \_)m）

<有効と思えた点>

- ◆目視では、黄色及び赤色が認識しやすい。また、レスキューシート◎（銀・金）が非常に目立つ。
- ◆発炎筒◎（車用）の発火が目立った（夜間及び雨天時に有効か）
- ◆救助用としての最小装備（出来たら1チームに1セット常備下さい：救助隊談）

①ロープ：20m×9mm（スピードザイル：飯田さん考案）

②スリング：2～3mテープスリング×1～2/30～40cm×2～3（プルージック用）/1m×1（支点用）

③カラビナ：3個

※救助隊では「三分の一」が救助時に使用頻度高

※◎はできれば装備リストに追加どうぞ。

紅葉が美しいコースを、鎖を頼りに登り終えました。皆様お疲れさまでした。

今年は秩父管轄で遭難死：10名との事、殆どが道迷いだそうです。みなさまご注意を！！

以上